



## 1学期期末考査後の過ごし方について

—振り返りと次の一步のために—

副校長 田中 洋介

1学期の期末考査が終わり、ひと区切りを迎えた今、お子さまがどのようにこの節目を受け止めているか、ご家庭でも話題になっているかと思います。この時期に大切にしてほしいことの一つが、「振り返り」と「次の目標設定」です。アメリカの教育学者ジョン・デュエイはこう言いました。

**「私たちは経験から学ぶのではない。経験を振り返ることから学ぶのである。」**

テスト結果や学習の過程を見つめ直すことで、自分の理解の甘さや、頑張れた点が見えてきます。ただ点数に一喜一憂するのではなく、その背景にある努力や課題に気づくことが、次の成長への大切な第一歩です。また、考査後は「次に向けた目標」を立てる好機でもあります。日々の学習はもちろん、夏休みに向けての過ごし方など、小さな目標をもつことで、子どもたちの中に自発的な意志が育まれていきます。あるコーチングの言葉に、こんな名言があります。

**「目標をもたない努力は、行き先のない航海と同じである。」**

進む方向が定まっていなければ、努力も流されてしまいます。御家庭でも、「次はどんな自分になりたい?」と問いかけていただけすると、お子さまも自分自身の未来をより前向きに描けるようになるかと思います。

こうした“振り返り”と“目標づくり”的機会として、夏休み中に予定している三者面談はとても重要な時間です。この面談では、学習面・生活面の現状を共有し、今後の方向性や課題について、御家庭・学校・本人の三者で確認していきます。面談を通して、これまでの成長を振り返り、これから何を大切にしていくべきかと一緒に考えることで、お子さま自身の主体的な学びにもつながっていきます。

ぜひこの機会に、お子さまの話に耳を傾け、これからの目標を共に描いていただければ幸いです。学校でも、子どもたち一人ひとりが自信をもって夏を迎えるよう、しっかりとサポートしてまいります。



生徒たちは「フォーサイト手帳」や「連絡ノート」を活用して計画と振り返りを行っています。